

# V 教育訓練



## (教育訓練)

### 1 概 要

近年、災害の態様は、気候変動や社会情勢の変化等に伴い複雑多様化・大規模化の傾向にあり、消防機関の業務は、このような状況に適切に対応するため、警防、予防、救急、救助等あらゆる活動分野でその量・範囲が増加・拡大する中、専門的かつ高度な知識や技術が求められている。

群馬県消防学校では、消防職団員に対し、その使命・責務を正しく認識させることはもとより、一層の専門化・高度化を図り、業務遂行上必要となる知識及び技術の修得を図るため、国の教育指標である「消防学校の教育訓練の基準」に基づき、多様な教育訓練を実施している。

また、女性防火クラブや自衛消防隊など自主防災組織の入校も積極的に受け入れ、防災関係の講義をはじめ、消火設備・器材の取扱い、災害模擬体験等を通じ、防火防災思想の普及を図っている。

なお、消防の幹部・指導者の養成を目的として必要な知識、技術、管理能力等の修得を図るための教育訓練を実施している総務省消防庁の消防大学校には、毎年度県下から十数名が入校している。

### 2 消防学校の教育訓練

#### (1) 平成28年度教育訓練概要

消防行政を取り巻く環境の変化や住民の要望に消防機関が的確に対応できるよう、教育訓練の充実を図るとともに、知識・技術を効率的・効果的に修得させることを主眼として、消防職団員の育成に努めた。

併せて、広く開かれた学校として、女性防火クラブや自衛消防隊、自主防災組織に対する教育訓練についても積極的に実施し、防災思想の普及に努めた。

なお、平成26年度からは、日本救急医学会公認の病院前外傷救護教育プログラムで、救命率の向上に有効な「JPTEC (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care) プロバイダーコース」を消防職員専科教育の救急科に導入した。また、平成25年12月に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受けて消防庁告示「消防学校の教育訓練の基準」が平成26年3月に改正され、従来の消防団員教育の「中級幹部科」が「指揮幹部科」として拡充強化されたことから、本校も平成26年度から指揮幹部科を導入した。

#### (2) 機 構

職 名	校 長	副 校 長	教 務 係 長	主 幹	副 主 幹	計	その他職員		合 計
							嘱 託 職	臨 時 職	
人 員	1	1	1	3	4 (消防本部(局)からの派遣4)	10	5 (内舎監2 専任講師1 医師1 その他1)	1	16

(3) 施設 (寮室収容人員100名)

施設	区分	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	摘 要
敷	地		22,938	
施設	本館	RC (3階)	1,241	1階 事務室、機材室、教官室、休養室、トイレ(男女)
				2階 第2教室、理化学教室、図書室、準備室、トイレ
				3階 第1教室、視聴覚教室、トイレ
	寄宿棟 (北寮)	RC (3階)	1,486	1階 寮直室、舎監室、談話室、食堂、浴室、救急実技室、洗面所、トイレ
				2階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
				3階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
	寄宿棟 (南寮)	RC (3階)	1,544	1階 大教室、特別会議室、浴室(男女)、トイレ(男女)、洗面所、倉庫、機械室、寮室1室(4人×1室)
				2階 寮室4室(4人×4室)、救急実技室、談話室、洗面所、トイレ、倉庫
				3階 寮室8室(4人×8室)、茶室、洗面所、トイレ、倉庫
	屋内訓練場	RC (1階)	868	管理室、脱衣室、機械器具室、講師室、ステージ、トイレ
	燃焼実験室	RC (一部2階)	280	スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、粉末消火設備、二酸化炭素消火設備、泡消火設備、補助訓練塔併設
	訓練塔	RC (8階地下1階)	457	煙道付 (17m・地下1階)
	補助訓練塔	S (2階)	122	ホース乾燥設備併設
	煙道	床板張	29	
	水難救助 訓練用施設	RC	400	25m×7コース、洗眼装置、滅菌装置一式、トイレ
車庫	S (1階)	403	機械実習室、高圧空気充填室、エアコンプレッサ設備	
機械室	RC (1階)	72	給排水用設備一式、冷暖房設備一式	
屋外訓練場	芝張等	8,000	放水標的、照明設備、洗車場、自家発電設備	
駐輪場	S (1階)	29	14.7m×2m 30台分	
その他		197	LPG倉庫、合併処理槽、ポンプ室、キュービクル2基、渡り廊下等、浄化槽、井戸、屋外便所	

## (4)平成28年度教育訓練実施状況(1)

平成29年3月31日現在

教育区分	月												延日数 実日数(日)	教育時間 (時間)	摘要 期・人数		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
職員教育	初任教育														168	814	69期 105人
	初任科	7(8日入校式)													112		
	警防科														12	70	44期 28人
	予防査察科														10		
	専科														12	70	38期 25人
	危険物科														10		
	消防調査科														9	49	38期 22人
	急救科														7		
	救助科														12	70	38期 24人
	初級幹部科														10		
	特別教育														58	273	22期 89人
	無線通信課程														39		
ピデオ硬性挿管用喉頭鏡講習														29	140	44期 26人	
合計														9	49	26期 21人	
														7			
														2	14	46期 110人	
														2			
														1	7	4期 18人	
														1			
														312	1,556	468人	
														218			

平成28年度教育訓練実施状況(2)

上段:日数・(時間)

下段:人数

平成29年3月31日現在

教育区分	月												合計	備考	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
基礎教育	普通科	4 (24)												4 (24)	2日×2回
	専科教育	100												100	
団員	機関科		4 (24)	2 (12)										6 (36)	2日×3回
	現場指揮課程		58	54										112	
幹部科	現場指揮課程			2 (14)										2 (14)	2日×1回
	分団指揮課程			58			2 (10)							58	
特別教育	ラッパ科									1 (6)				1 (6)	1日×1回
	指導員研修						39			22				22	
教育	一日入校		1 (5)	7 (18)	21 (63)	23 (69)				2 (12)				2 (12)	2日×1回
	現地教育		28	101	436	461				41				41	
計			1 (5)	7 (18)	21 (63)	23 (69)								52 (155)	51団(隊)
			28	101	436	461								1,026	
関係団体	女性防火クラブ		1 (6)	5 (10)	3 (6)									9 (22)	14回
	婦人消防隊		310	117	71									498	
防火管理者		4 (24)	6 (35)	16 (54)	26 (79)	23 (69)				3 (18)				78 (279)	
		100	396	330	546	461				63				1,896	
その他の団体			2 (4)	1 (3)						1 (2)				6 (14)	6団体
			73	10						20				158	
計										1 (5)				1 (5)	1団体
										24				24	
計		4 (24)								2 (5)				10 (41)	7団体
		260								77				451	
合計		4 (24)		2 (4)	1 (3)	2 (5)	1 (5)			3 (10)	2 (5)			17 (60)	
		260		73	10	80	16			79	77			633	
合計		8 (48)	6 (35)	18 (58)	27 (82)	25 (74)	5 (25)			3 (10)	2 (5)			95 (339)	
		360	396	403	556	541	99			79	77			2,529	

## (5)平成28年度消防本部別入校者数(職員教育)

平成29年3月31日現在

課程 科	初任教育	専 科						教 育			幹部教育	特別教育		計
		警防科	予 防 査察科	危険物科	火 災 調査科	救急科	救助科	初 級 幹部科	無線通信 課 程	ビデオ硬性 挿管用喉 頭鏡講習				
消防本部(局)	69期	44期	38期	38期	22期	44期	26期	46期	4期					
前橋市	14(1)	5	5	4	10	6	5	17(1)	1				71(2)	
高崎市等広域	19(1)	2	2	2	15	2	2	20(1)	2				68(2)	
桐生市	10(2)	3	2	1	6(1)	2	1	10(2)	1				38(5)	
伊勢崎市	11	3	3	3	14	2	2	10	1				52	
太田市	7(1)	5	5	4	8(1)	4	4	7(1)	2				50(3)	
利根沼田広域	6	1	1	1	6	2	1	6	2				28	
館林地区	7	3	2	2	4	3	2	7	2				34	
渋川広域	8	2	2	2	4	2	1	8	2				33	
多野藤岡広域	7	1	1	1	6	1	1	7	2				28	
富岡甘楽広域	8	1	1	1	8	1	1	7	1				30	
吾妻広域	8	2	1	1	8	1	1	8	2				33	
計	105(5)	28	25	22	89(2)	26	21	107(5)	18				465(12)	
								※ 110(5)					※ 468(12)	

※ 消防職員以外の入校者(伊勢崎市消防団2名、太田市役所1名)を含む。

注 ( )内は女性数(内数)

(6)年度別教育訓練実績表

教育区分 年度	消防職員											消防団員					関係団体			合計 (A+B+C+D)										
	初任教育				専科教育				その他教育			特別教育			計(A)			計(B)			事務担当者 (C)	防火管理者	その他団体							
	幹部教育				救急科				救助科			その他			普通科(新入団員)			機関科						特別教育			現地教育・他			
	初任	上級	中級	初級	警防科	予防科	危険物科	火災調査科	救急科	救助科	その他	特別教育	普通科(新入団員)	機関科	ラッパ科	一日入校	現地教育・他	普通科(新入団員)	機関科					ラッパ科	一日入校	現地教育・他	普通科(新入団員)	機関科	ラッパ科	一日入校
平成6	82	-	24	23	23	23	27	60	59	24	17	58	420	109	167	217	39	1,501	924	2,957	21	654	135	1,713	2,502	5,900				
7	93	-	-	21	23	21	29	72	47	20	22	118	486	94	172	255	48	91	180	840	11	397	163	1,491	2,051	3,388				
8	89	-	22	22	23	25	34	84	58	25	22	47	451	98	144	176	26	1,219	60	1,723	11	569	43	1,567	2,179	4,364				
9	75	-	22	25	26	26	32	77	69	23	22	110	507	112	153	246	42	21	36	610	0	398	55	664	1,117	2,234				
10	71	-	-	25	25	25	37	88	71	25	28	46	465	58	105	191	30	766	176	1,326	0	386	53	637	1,076	2,867				
11	65	-	24	26	29	27	38	81	73	25	28	106	522	64	145	219	42	15	96	581	0	419	23	569	1,011	2,114				
12	50	-	21	26	26	24	37	70	78	24	29	51	436	101	133	211	24	899	676	2,044	0	246	46	315	607	3,087				
13	51	-	21	25	26	24	34	62	69	26	28	169	535	146	145	227	78	54	26	676	27	400	47	260	707	1,945				
14	57	-	-	24	25	24	32	52	62	25	27	85	434	131	116	180	58	927	450	1,889	0	560	130	418	1,108	3,431				
15	53	-	21	25	25	22	35	46	68	24	27	134	480	133	162	201	57	25	0	578	0	361	155	240	756	1,814				
16	58	-	-	24	26	23	28	80	23	17	41	340	480	109	171	176	50	1,068	629	2,203	0	285	111	176	572	3,115				
17	55	-	19	23	25	21	30	75	24	23	98	393	393	94	196	195	50	28	60	623	0	369	171	51	591	1,607				
18	67	20	-	29	27	27	34	65	25	23	47	364	364	93	201	133	51	992	542	2,012	0	182	119	181	482	2,858				
19	61	-	21	26	24	24	29	63	24	22	89	383	383	76	135	191	33	29	0	464	0	156	94	144	394	1,241				
20	88	-	20	26	26	25	27	59	26	20	24	341	341	114	115	155	43	1,577	345	2,349	0	463	105	85	653	3,343				
21	89	17	-	24	23	22	26	63	23	21	83	391	391	101	111	238	59	29	304	842	0	311	31	185	527	1,760				
22	77	-	22	25	24	23	26	74	24	-	49	344	344	67	113	164	48	1,424	892	2,708	0	316	32	108	456	3,508				
23	92	-	23	27	25	23	26	75	21	-	110	422	422	88	111	177	46	28	290	740	0	185	22	173	380	1,542				
24	99	20	-	26	24	23	28	69	24	-	39	352	352	110	99	144	29	1,226	674	2,282	0	270	36	109	415	3,049				
25	89	-	-	25	22	23	26	72	25	-	105	409	409	100	131	157	48	32	110	578	0	178	26	171	375	1,362				
26	104	-	22	25	23	24	27	79	26	-	137	467	467	117	97	155	23	1,019	539	1,950	0	196	31	136	363	2,780				
27	108	14	-	28	25	23	28	87	26	-	203	542	542	82	137	147	25	27	292	710	0	209	25	155	389	1,641				
28	105	-	-	28	25	22	24	89	26	-	128	468	468	100	97	112	22	1,026	539	1,896	0	158	24	451	633	2,997				

※救急科 H5~15の左欄はII課程、右欄は標準課程。

※消防職員教育の特別教育は、H25までは無線通信課程を同時に受講した初任科の学生数を除いていたがH26からは含めることとした。

※従来の消防団員幹部教育については、H26から指揮幹部科として実施。



### 3 消防大学校の教育訓練

#### (1) 教育訓練目的

部	学 科	教 育 訓 練 目 的
総 合 教 育	幹 部 科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成する。
	上級幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させる。
	新任消防長・学校長科	新任の消防長・消防学校長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。
	消防団長科	消防団の上級幹部に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。
専 科 教 育	警防科	警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、警防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	予防科	予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	救急科	救急隊長等に対し、高度の知識及び能力を総合的に修得させ、救急業務の指導者等としての資質を向上させる（指導救命士養成教育を含む）。
	救助科	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救助業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	火災調査科	火災調査業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	危険物科	危険物保安業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、危険物保安業務の教育指導者等としての資質を向上させる。
	新任教官科	新任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、その職に必要な知識及び能力を専門的に修得させる。

科	コース	教育訓練目的
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	高度救助・特別高度救助コース	高度救助隊、特別高度救助隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	NBCコース	緊急消防援助隊のNBC災害要員等に対し、NBC災害対応業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	航空隊長コース	消防・防災航空隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
危機管理・防災教育科	危機管理国民保護コース	地方公共団体の危機管理・防災実務管理者・国民保護担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	自主防災組織育成コース	自主防災組織の育成担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。
	自主防災組織育成短期コース	自主防災組織の育成業務に携わる担当職員に対し、その業務に必要な基礎的知識及び能力を修得させる。
	消防団教育訓練推進者養成コース	消防団の業務、教育訓練に携わる者に対し、その業務に必要な実務的な知識及び能力を修得させる。
女性消防吏員活躍推進講習会	女性消防吏員の幹部候補生に対し、キャリア形成を支援し、職域拡大等を目的とした知識及び能力を修得させる。	

(2)平成28年度消防大学校入校状況

	学 科	期・回	入校人数	
総合教育	幹部科	46	0	
		47	1	
		48	0	
	上級幹部科	80	1	
	新任消防長 ・学校長科	20	1	
		21	0	
	消防団長科	69	0	
70		0		
専科教育	警防科	99	1	
		100	1	
	救助科	73	1	
		74	1	
	救急科	78	1	
	予防科	100	1	
		101	1	
	危険物科	11	1	
	火災調査科	31	0	
		32	1	
	新任教官科	10	4	
	合 計			16

	コース	期・回	入校人数
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	15	0
		16	2
	高度・特別高度救助コース	6	2
	NBCコース	6	1
	航空隊長コース	16	1
防災危機管理教育科	危機管理・国民保護コース	6	0
	自主防災組織育成コース	12	0
	自主防災組織育成短期コース	3	4
		4	0
	消防団教育訓練推進者養成コース	2	0
女性消防吏員活躍推進者育成コース	1	2	
合 計			12



